

<情報解禁は6月27日(金)AM9:00になります。情報のお取り扱いにご注意ください>

押井守監督も、その才能に驚愕した※1

知られざるオランダの映像作家・芸術家 ROSTO

遺作となった『**四つの悪夢**』※1と

ドキュメンタリーを合わせた**特集上映**が決定

ROSTO 追悼上映企画 <存在証明>



トラウマ必至のメインビジュアル・場面写真・予告編も解禁!

予告編 https://youtu.be/A_P8wGRY8fc

※1 第1回新潟国際アニメーション映画祭にて<境界賞>受賞

すべては、ROSTO の頭の中のコンセプト『Mind My Gap』から始まった！

1990年初頭、自らの製作スタジオ“ROSTO A.D’ s”を拠点に CF やミュージック・ビデオを制作するかたわら撮り上げた短編映画「(伝説の) アングロビリー・フィーバーソンの興亡」(2002年)と「ジョナ/トムベリー」(2005)が、カンヌ受賞をはじめ世界的評価を浴びた ROSTO。

これらの短編はミクスドメディア・プロジェクト『Mind My Gap』の一部であり、受賞以前からグラフィック・ノベル、映像、音楽化した作品群を(当時としてはかなり先駆的な試みである)オンラインにて発表し続けていました。

受賞後には、かつて自らが所属していたパンク・バンド THE WRECKERS を“黄泉の国”から呼び戻し、『Mind My Gap』のスピアウト作品として“存在しないレコードのミュージック・ビデオともいうべき4連作『THEE WRECKERS TETRALOGY』を15年の歳月をかけて完成させます。次に狙うは初の長編作品…しかし、ROSTO は2019年、病気のため急逝してしまいます。

彼の死後、友人であり、『ユニコーン・ウォーズ』や『LOGORAMA』のプロデューサーとしても知られるミハエル・シュマーキンが、オンライン・グラフィックマガジン『Mind My Gap』を210ページ+2CD 付き特別仕様の書籍としてまとめ上げます。同時に4連作をまとめた『四つの悪夢』※2 とドキュメンタリーをあわせて、コロナ禍のヨーロッパ各国で上映し、その早すぎる死を悼みました。

※2 『四つの悪夢』は、第1回新潟国際アニメーション映画祭のコンペティション部門に選出されました。押井守審査委員長は、ROSTO のマルチな才能に敬意を表し“境界賞”を授与しました。また、ラジオ・パーソナリティの宇多丸氏が、同映画祭のラインナップを見比べて、そのサムネイル写真のあまりの異質さに驚愕したエピソードも有名です。



<『四つの悪夢』より>

オランダの鬼才 ROSTO 追悼上映

<存在証明> ROSTOの遺作『四つの悪夢』とドキュメンタリーを一挙上映

『四つの悪夢』

<2020/フランス・オランダ/カラー/DCP/英語・日本語字幕/45分>

監督:ROSTO 原題:THEE WRECKERS TETRALOGY

“No Place Like Home_うちが一番”(2008)

“Lonely Bones_孤独な骨”(2013)

“Splintertime_スプリンタータイム”(2015)

“Reruns_再生”(2018)

ドキュメンタリー

『すべてが変わったようで、何も変わっちゃいない』

<2020/フランス・オランダ/カラー/DCP

/英語・日本語字幕/20分>

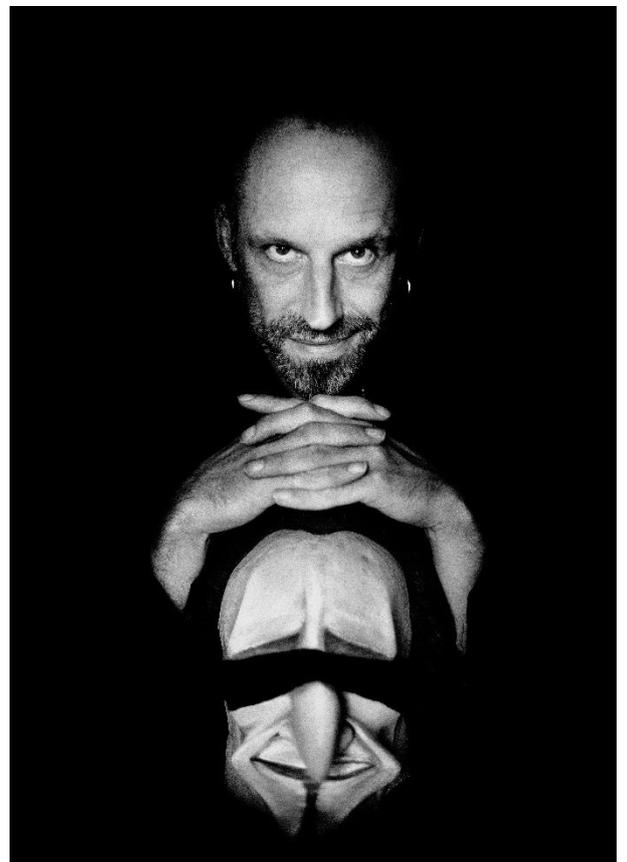
監督:ジョアン・コスタ&ローベン・グラディセン

出演:ROSTO、THEE WRECKERS

原題:Everything is different,

but Nothing has changed

提供:Riskit Black Label/simple+



配給:リスキット

ROSTO.JP

知らされるオランダの鬼才 ROSTO 追悼上映 <存在証明>

8月16日(土)より シアター・イメージフォーラムにて先行公開後、順次全国公開

=====

『ロングウェイ・ノース』『マロナの幻想的な物語』など良質な海外アニメーションの配給で知られるリスキットが、(海外では著名でも)日本ではまだ知られていない異才を紹介する新レーベルです。

“万人にはすすめられない、でもはまる人ははまる”をコンセプトに、

スペインのアルベルト・バスケス監督『ユニコーン・ウォーズ』やカナダのガイ・マディン監督(『ギムリ・ホスピタル』『アークエンジェル』)といった監督たちに続いてスポットをあてた作家が ROSTO になります。

Riskit Black Label では、今後もアヌシー映画祭で上映されて話題となった横スクロール地獄絵巻『Swallow The Universe 宇宙を飲み込む蟻くそ』の監督 NIETO 作品などアート色の強い超個人的なダーク・ファンタジー作品がラインナップされています。

【ROSTO】(1969-2019)

彼の最初の短編映画「(伝説の) アングロビリー・フィーバーソンの興亡」(2002年)と「ジョナ/トムベリー」(2005年カンヌ国際映画祭 Canal+グランプリ受賞)は、数々の権威ある国際映画祭で上映され、世界的な評価を得ました。これらの短編映画は、オンライングラフィックノベルから始まり、音楽、小説、そして映画へと展開した複合メディアプロジェクト「Mind My Gap」の一環でした。これらの映画と関連作品が2015年のリュブリャナ近代美術館を含むいくつかの国際映画祭で注目されるだけでなく、ロストの作品は、国際的な音楽アーティストの注目を集めました。2011年の映画『ニクスの怪物』では、メトロポール・オーケストラ、トム・ウェイツ、テリー・ギリアム、ザ・レジデンツ、ザ・ドーらとコラボレーション作品となっています。ロスト並行して監督の音楽プロジェクト「ジー・レッカーズ」をフィーチャーした4部作に着手、シリーズの1作目『うちが一番』(2008年)を発表、2作目『ロンリー・ボーンズ』は2013年のロッテルダム国際映画祭で成功を収め、オタワ国際アニメーション映画祭でグランプリを受賞しました。『ボーンズ』はオランダの映画館でも配給され、複数の国際テレビ局で放送されました。『スプリンタータイム』(2015年)、『リランズ』(2018年)で、この「ジー・レッカーズ」四部作は完結します。ロスト監督は自身初の長編映画の開発に挑むが、2019年病気のため、急逝。

4部作は彼の死後、フランスの制作・配給会社オトウッド・ミヌイト主催のミハエル・シュマーキンによって『四つの悪夢』に纏められ、ドキュメンタリーと合わせてヨーロッパ各国で上映されました。

実は旅など存在しない 人は出発と共に到着している by デビッド・ボウイ

『四つの悪夢 THEE WRECKERS TETRALOGY』より

<THEE WRECKERS/ジ・レッカーズ>



レッカーズはかつて実際に存在したオランダのパンク・バンドです。その活動は1993年に始まり、数年後には女性ヴォーカルを立て個性的なオリジナル楽曲でライブ活動をするに至りますが、まもなく活動停止を余儀なくされます。そんな彼らが残した楽曲は数年後、リーダーの ROSTO が進めるオンライン グラフィック ノベル『マインド マイ ギャップ』に存在しない映画のサウンド・トラックを装って再び登場しました。

黄泉の国から呼び戻されたジ・レッカーズの面々はさらに、それらしい風貌に変わり、オリジナルの定命のバンドが果たせなかったことを実行し始めます。それが本作『四つの悪夢』(原題: THEE WRECKERS TETRALOGY)で、本作は ROSTO が15年の歳月をかけて紡ぎあげた『マインド マイ ギャップ』のスピニアウト的な作品となっています。

『四つの悪夢』(原題: THEE WRECKERS TETRALOGY)楽曲について

“No Place Like Home_うちが一番”(2008)は、四部作の最初の作品です。4つの短編各作品は個々のオリジナル楽曲、オリジナルのバンドメンバー(W.ウォーリー、W.ルーニー、W.フォーリー、W.ロスト)が登場しています。

その続編『Lonely Bones/孤独な骨』(2013)の最後で彼らが船を放棄するのが見られ、3作目『Splintertime スプリンタータイム』(2015年)では、バンドが鎖につながれ、どこへも向かう道を進んでいる様子が描かれています。最後の映画「Reruns/再生」(2018年)では、彼らは若者、老人、そして死んだ男の両方として再登場します…

『四つの悪夢/Thee Wreckers Tetralogy』の音楽はこんな感じです。ロックンロール時代のファンタジアと呼んでもいいでしょうか。販売できるレコードがないため、これらはミュージック ビデオではありません。

■本報道資料についてのお問い合わせ先

【作品について】 リスキット 担当:金子 090-7414-5875 gaku0615@gmail.com

【報道資料内使用写真データ/予告編データ】下記よりダウンロードをお願いします

<https://x.gd/kDgS1>

または

https://drive.google.com/drive/folders/1DNrJco-D2CKT_dFPSIcHKbuPXu6Gtfsf?usp=sharing

【オンライン試写のご案内】

本報道資料掲載の ROSTO 監督

『四つの悪夢』と『ドキュメンタリー』のオンライン試写をご希望の方は

riskit.jp の HP の応募フォームから または info@riskit.jp にて申請ください

お名前

媒体名（掲載可能性媒体/未定可）

オンライン試写ご希望の作品名を記載の上ご一報ください。